

2026年6月24日  
一般財団法人バイオインダストリー協会  
日本バイオ産業人会議  
Greater Tokyo Biocommunity

## 「日本成長戦略会議における官民投資ロードマップ」の着実な実現に向けて

今般、日本成長戦略会議における官民投資ロードマップが公表されました。一般財団法人バイオインダストリー協会（JBA）、日本バイオ産業人会議（JABEX）および Greater Tokyo Biocommunity（GTB）は、日本成長戦略の17の戦略分野および分野横断的課題のうち、バイオ産業に関わる重要課題について、「日本成長戦略の検討課題に向けた提言」を3者連名で発出し、関係府省の皆様と継続的に対話を重ねてまいりました。バイオ産業は、気候変動、資源・食料問題、医療・健康課題、さらには経済安全保障上の課題に対し、横断的に貢献し得る基幹産業です。今回の官民投資ロードマップにおいて、3者連名提言の内容が数多く盛り込まれたことに、深く感謝申し上げます。

「合成生物学・バイオ」については、3者連名提言で、バイオ由来製品の市場環境の整備、バイオものづくりを下支えする生産基盤整備、そしてバイオものづくりのための早急な原材料確保を提言してまいりましたが、今回のロードマップにおいて、初期需要喚起、国内投資支援、生産拠点整備、原料の安定調達やコスト低減等に関する具体的な施策が明記されたことは、わが国のバイオものづくりを研究開発段階から社会実装・産業化へと進める上で、極めて重要な前進です。

また、「フードテック」については、バイオものづくり技術を活用した食品の社会実装に向けた推進体制整備、適切な安全性評価基準・プロセスの整備、社会実装に向けた実証試験の推進基盤整備、市場創出・国際競争力強化に向けた支援を提言してまいりましたが、評価基準・品質規格等の整備、試験生産・実用化に向けた実証支援、新規食品に対する消費者理解の醸成、日本主導による国際標準の策定等が盛り込まれたことに感謝いたします。食料自給率の向上を通じて食料安全保障を強化すると同時に、日本の食の強みである「美味しく、健康的で、環境にも良い」という高付加価値なサービス・製品を開発し国内外市場へ展開するためには、これらの支援は極めて重要です。

さらに、「創薬・先端医療」については、重要医薬品のサプライチェーン強靱化、創薬エコシステムの構築による創薬力強化、予見可能な薬価制度ならびに治験・承認環境の整備を提言してまいりましたが、創薬クラスターの整備、国内製造基盤の強化、治験体制の整備等が盛り込まれました。「合成生物学・バイオ」で講じられる施策と合わせ、革新的医薬品、再生医療等製品、感染症対応製品を国内から継続的に創出し、国民の生命と健康を守るとともに、世界の医療課題解決に貢献するためには、こうした取組の着実な実行が不可欠です。

今後は、ロードマップに掲げられた施策を実効ある形で社会実装につなげることが何より重要です。研究開発、設備投資、人材育成、制度整備、市場形成を一体的に進めるためには、産官学がそれぞれの役割を果たしながら、継続的かつ実務的に連携していく必要があります。

JBA、JABEX および GTB は、関係府省をはじめステークホルダーとの連携を一層深め、官民ロードマップの実現に積極的に貢献してまいります。引き続き、産業界と関係府省との継続的な対話と連携の場が確保され、日本のバイオエコノミーの成長と国際競争力強化につながることを強く期待いたします。

以上